

チャノキイロアザミウマ情報第2号

平成23年6月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生の状況

JPP-NETを利用して有効積算温度から算出したチャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク日は、中山間部に位置する稲武を除いて5月23日から5月27日となりました。

5月下旬の発生量を防風用に栽植されているイヌマキの新梢の払い落としにより調査したところ、平年並の発生量でした。

また、黄色粘着トラップによる本種の誘殺数は、東浦町、南知多町、蒲郡市、豊橋市のいずれにおいても平年並となっています。

2 発生ピークの予測と防除

中山間地を除いた地域における第2世代成虫の発生ピーク予測日は、6月17日から6月23日となっています(図)。これは昨年より0～3日遅くなっています(参考)。

成虫発生ピーク時が防除適期ですので、発生が多いほ場では表を参考に防除しましょう。

参考 昨年の第2世代発生ピーク	
愛西：6/20	岡崎：6/19
名古屋：6/17	蒲郡：6/19
豊田：6/19	豊橋：6/19
東海：6/16	伊良湖：6/21
南知多：6/21	稲武(第1世代):6/15

※昨年の実測値から計算



図 チャノキイロアザミウマ第2世代成虫の発生ピーク予測日 (JPP-NET)

表 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
カンキツ	モスピラン水溶剤
	アドマイヤー顆粒水和剤
	ハチハチフロアブル
ブドウ	オルトラン水和剤
	テルスター水和剤
	コテツフロアブル
	ダントツ水溶剤
カキ	オルトラン水和剤
	コテツフロアブル
	モスピラン水溶剤
	ダントツ水溶剤

なお、薬剤は、ラベルを確認し収穫前日数に注意して使用してください。